

# 新しい春を迎え

# 躍進を誓います

全日本遊技事業協同組合連合会  
理事長 青松 英和



## 質的充実で大衆娯楽の王様復活

新年明けましておめでとうございます。皆様には御家族、従業員の方々ともども輝かしい新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、今日の日本は急速な少子高齢化と経済のグローバル化の時代の到来を迎え、長期にわたって社会全体が閉塞感に覆われています。

その中で一昨年に発生いたしました東日本大震災は、社会の在り様に変革を促す大きな契機となりました。社会の発展よりその内実の充実を求められる時代になってきたと言っても良いと思います。

私たちの遊技産業も量的拡大から質的充実が求められる時代になったと言えます。しかし社会の変革のスピードに業界がついていけない状況が続いています。そのことが急激なる遊技人口の減少を招き、ただでさえ厳しい営業環境を更に悪化させています。

考えられ得る現状打開の有力な方策と思われることは、遊技産業挙げて、あらゆる面でこの業界を大衆娯楽の王様と呼ばれていた時代の姿に戻すことであります。業界を廻るあらゆるデータを勘案してみましても、遊技産業の今後の消長には予断を許さないものがあると感じます。本年は業界の明日を担う次の世代の為にも、遊技人口を回復して安定した営業環境を再構築していくスタートの年にしたいと考えています。

また、今年のお正月は、多くの人々に大きな悲しみをもたらした東日本大震災から数えて二回目の正月にもなります。歳月は人の喜び、悲しみに関わらずだれにも等しく巡り来ます。それは人智の及ばぬ不変のことですが、あの震災以来、被災地で過ぎ去った時間を思いやる時、遅々として進まない復興の道程にはある種のいら立ちを覚えるのは私だけでしょうか。

時が過ぎゆく中で聞こえる着実な復興への槌音だけが、被災地の人々の傷ついた心を少しずつ癒すことが出来ると思います。今年こそ復興作業が加速度的に進展することを強く望むばかりです。

一般社団法人 遊技産業健全化推進機構  
代表理事 河上 和雄



## 若いファン生む新しいホール像を

遊技産業健全化推進機構が発足して7年目を迎えることになります。

当機構の目的は業界からの不正根絶です。立入検査開始以来これまでの検査店舗数は約1万5000店に上ります。相変わらず遊技機等に異常が発見されているとの報告を受けておりますが、不正防止という点で機構の検査活動は様々な形で成果を挙げていると自負しております。

ただ、立入検査を受け入れるホールの側にまだ問題が残っております。昨秋に初めて「立入検査拒否」のホールが出てしまいました。この他にも嫌がらせとしか思えないような対応がまだまだ出ております。ホール経営者や責任者の皆さんは改めて誓約書に目を通して頂きたいと思います。

経済情勢はといいますが、不況が続いております。景気が落ち込みサラリーマンの給与が減る。自動的にお小遣いも縮小するという悪循環です。影響は業界に深刻な形で表れています。「レジャー白書」によるとパチンコ・パチスロの参加人口は激減しております。ですから今後取り組むべきは遊技人口数の回復になると思います。

お客さんが減り、その分ヘビーユーザーに依存する傾向が強まっていますが、そうしたホール経営はすでに限界に来ているとの指摘が出ております。末長く遊技に親しんでくれる若いファンを生み出す施策こそ今考えなければいけないことでしょう。

旧態依然たるイメージを打破し、新しいホール像を創造していくことが必要になります。

是非、業界が一体となって新たな気持ちで取り組んでほしいと思います。永年、庶民の娯楽として定着してきた実績・財産をいかに守り発展させていくか。業界の皆様、一人一人にかかっていると云えましょう。

機構も業界の健全化を目指して努力を続けてまいりたいと思っております。

最後に皆様方の新年の益々のご繁栄、ご健勝を祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 躍進を誓います

日本電動式遊技機工業協同組合  
理事長 里見 治



## 進化した遊技機の提供が不可欠

日本遊技関連事業協会加盟の皆様 謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年も日電協をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年日電協加盟各社は、ユーザーに楽しんで頂ける遊技機開発に全力を傾注致しました。また、業界の皆様のご支援によりホール設置台数も140万台を超える程になり、全盛期には及ばないものの、ようやく復調の気配が感じられるようになりました。改めまして日電協を代表して日電協加盟の皆様方に深く感謝申し上げます。

さて、欧州諸国の債務危機を発端とした世界的な経済不況に陥っている中で、昨年末に我が国は総選挙が実施されました。この所感を見て頂くときには新政権が誕生して新たな船出を始めているわけですが、長引く円高によって輸出は伸びず、貿易収支も大幅な赤字となっております。その中で来年からは消費税が引き上げられ、年金は順次引き下げられるなど、所得の向上の兆しも見られず厳しい現況にあります。遊技人口も減少傾向が続き、私達の産業にも大きな影響が出てきています。経済発展なくして日本の成長はないわけですから、今度の政権には思い切った政策を実行して、行過ぎた円高の是正や、株価対策、輸出拡大等も含めた景気対策を実施して、

日本経済の発展に努めて頂きたいものです。

日電協では“市場トレンドはファンが決める”をモットーに、加盟各メーカーが日々努力し、新規性やかつてないゲーム性を生み出すクリエイティブな挑戦を続け、ファンの拡大が図れるよう、今まで以上にもっとドキドキ、ワクワク出来る遊技機の提供に全力で取り組みます。より進化した遊技機の提供が不可欠と考え、全加盟メーカーはそのための“物造り”に徹して参ります。

遊技産業は人々の生活に“楽しみ”を提供する産業であります。業界が今後とも人々の価値観に寄り添い、時代に相応しい変化を遂げて、社会に必要な産業となれるよう、日電協も常に存在意義の強化に努め、持続可能な社会の形成に寄与して参ります。

日本遊技機工業組合  
理事長 市原 高明



## 機歴管理も含め安心な遊技機を

業界はここ数年の市場の落ち込みに歯止めがかからず、危機的な状況にあります。一方、年間の遊技回数及び平均費用は増加傾向で、よりヘビーユーザーへの依存傾向が明らかになりました。これらの状況から、ばちんこ遊技のあり方を見つめ直す時期にあると認識しています。

新たなファンを掘り起こし、身近で手軽な大衆娯楽として幅広い層に受け入れられるよう、業界として安心して遊べる遊技環境を整備し、社会的な役割を重視し国民の理解を得ることが重要であると考えています。

その具体的方策として負のイメージを払拭し、課せられた問題の一つ一つ着実に解決に向けて努力しなければなりません。

こうした中、ばちんこ営業における広告・宣伝等の健全化について行政から再三の指導があったことは、放置すれば業界に対する信頼を失墜させ、結果的にファンの減少や、のめり込みの拡大にも繋がりがかねないとの警告であったと思います。風俗営業に関わる者としての法の理解、コンプライアンスに向けた自覚を問われており、業界が健全に存続していく上で基本的なことでありますので、今一度、一人一人が原点に立ち返り理解を深める必要があると思います。

不正防止対策につきましては、引き続きより不正されにくく、かつ、不正行為を発見しやすい遊技機づくりに努め、セキュリティ向上に取り組んで参りますが、ホール撤去後の遊技機の不正利用や不適正な処理が懸念されていることから、機歴の管理徹底が課題となっており、製造業者として新台出荷から廃棄台の適正処理・リサイクルに至るまでの機歴を管理するシステムを関係各団体の協力を得ながら構築して参ります。

また、ECO遊技機につきましては、セキュリティを重点に環境問題への対応、コスト面の改善、防火安全上の問題点の改善等、現状の業界の問題を解決する方策の一つとして、関係団体とのご理解を得ながら進めて参りたいと考えています。

回胴式遊技機商業協同組合  
理事長 伊豆 正則



## 勇気ある改革で既成概念を打破

先人たちや諸先輩方が長年にわたって築いてこられた日本の「ぱちんこ・パチスロ文化」を、国民の大衆娯楽としてさらに存続させるためには、お客様からの安心と信頼を得ることが何より大切です。これは、ホール様だけ、メーカー様だけ、販売会社だけといった個々の取り組みではなく、業界全体が家族として一体となって顧客の維持・顧客の創出などの諸問題に取り組まなければ国民に信頼される大衆娯楽は実現しないだろうと思っております。

そこで、私は、ここ数年、一年のキーワードを一文字に託して年頭所感とさせていただいておりますが、平成25年の年頭に当たっては、「改」（あらためる）の一文字で表現したいと思います。

日々の問題を解決する改善が必要ですし、また、大きくは業界全体の改革も含めて、問題は山積しています。改革への障壁となっているのは、業界内に根強く残る多くの既成概念です。その既成概念を打破するために、日頃、私は「〴〵勇気。をもって改革を実行すれば、ファンの中に〴〵遊気。が生まれる」と、多くの方々に呼びかけております。改革とは、日々の改善の積み重ねだと思っております。

また、新年号の回胴遊商広報誌では、アントニオ猪木氏との「新春元気対談」を行いました。「ぱちんこ業界にもう熱い熱意が感じられないから、お客様はこの業界に飽きてしまったんですよ。遊技業界が一丸となり、再び熱意を持ってお客様に感動を与えて欲しいと思います」とのメッセージをいただきました。真摯に耳を傾ける必要があると強く感じております。

一方、組合運営につきましては、コンプライアンスの徹底はもとより、今後は、地方の支部基盤をさらに強化するとともに、環境の変化にスピーディーに対応するため、ガバナンス（主体的な意思決定や合意形成のシステム）の強化に取り組み、その上で公平な組合運営に努めたいと考えております。そのためには、人材の育成、教育が必要です。今、何をするか、何が大事なのかを優先順を付けて、この1~2年で実現できるよう最大限の努力をしております。

全国遊技機商業協同組合連合会  
会長 中村 昌勇



## 実務の効率化と点検確認の向上

新年を迎えるに当たり、ひと言ご挨拶を申し上げます。皆様方におかれましては、益々のご健勝と輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。

さて、欧米の金融財政危機に端を発した経済危機の影響は、日本経済にも及び、更に未曾有の東日本大震災や原発事故という歴史的な自然災害に人災も加わり、その莫大な被災と、復興に追われるなど、大変厳しい年が続き、その影響は遊技業界にも及んでおります。

しかし、大衆娯楽として、様々な困難にこれまでも耐え抜いてきたパチンコ産業、その担い手としては、これらの困難な環境を克服しながら業界を盛り上げるために、流通市場の活性化へ向けて努力をし続けて行く責務があります。

私ども全商協は、販売業者登録制度や、中古機流通制度などを守るために、組織として実務処理能力のレベルアップはもとより、実務作業の効率化を図ってまいりました。その中で、テレビ会議システムの導入により迅速な情報の共有を図っております。

また、今年で14年目を迎える中古機流通制度でございますが、私ども全商協は、『繋げよう！

安心、安全、信頼の輪』をスローガンに掲げ、更なる健全化・適正化に向けた取組みを行っております。

不正防止対策、適正な流通への取組みはもとより、この制度の原点である「取扱主任者の点検確認作業の確実な実施」を徹底させるべく、実際に遊技機を使つての少人数による実技講習会を数多く開催し、取扱主任者ひとりひとりの点検確認技術の向上を目指し、セキュリティー強化を図っております。

加えて、顔認証システムによる作業実績記録の導入を更に推進し、安心してご使用いただける遊技機の提供に努めてまいりますので、本年も皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

# 躍進を誓います

遊技場自動補給装置工業組合  
理事長 梁川 誠市



## 深刻な参加減少、新たな方向性を

昨年の我が国は、諸外国の景気減速を背景に、雇用情勢、個人消費ともに厳しい状況が続き、依然として円高とデフレの悪循環から脱却できませんでした。本年も不安定な海外動向や国内における政治情勢など、先行き不透明感は否めません。

TPP交渉に関わる事項やエネルギーに関する諸問題で混迷を極める政局において、消費増税は我々業界にとっても重要な問題であり、動向が注目されます。

また震災復興については、引き続き業界関係者をはじめ全国の様々な方々による救済、支援活動が続いており、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

先ごろ発表されましたレジャー白書によりますと、余暇全体が縮小傾向を示すなか、業界関連市場においては規模縮小に歯止めが掛からず、特にパチンコ遊技の参加人口については前年に比べ約410万人も大幅に減少するという危機的数値が報告されております。

この状況は将来に向けて非常に深刻なことであり、多種多様なレジャー産業に対する今後の対策と、特に以前から警鐘されている遊技市場への若年層の取り込みは、必然的に迫られていると思われま

す。昨年は国内外で初めてホール企業の上場という明るい話題もありましたが、本年も健全化の中で身近で手軽な大衆娯楽をアピールしていき、業界一丸となって新たな方向性を打ち出し、危機感を打破していく以外に策は無いと思われま

す。我々設備機器メーカーも、施工件数においては近年の低迷期から緩やかな回復傾向になりつつありますが、依然として厳しい局面に立たされていることには変わりありません。我々も組合員総意のもと、積極的に協力していく所存でございますので、本年もより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

遊技場自動サービス機工業会  
理事長 古宮 重雄



## 新ネットワークの動向にも注目

皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、年初に、廃業店がここ5年間で最少との発表があり、店舗数減少に一定の歯止めがかかったとの期待感で始まりました。

夏には、ダイナムジャパンHDが香港証券取引所に上場し、また遊技産業健全化推進機構に対して警察庁生活安全局が不正防止・健全化の取組みを評価し感謝状を授与するなど業界にとって明るい話題がありました。

一方で、警察庁より広告宣伝の再徹底や、貯玉再プレイ手数料の徴収並びに遊技ポイントの付与禁止に関する文書が発信され、少なからず影響があった年でもありました。

10月発表のレジャー白書では、市場規模が前年比4840億円減少の18兆8960億円となったこと、参加人口が前年対比25%も減少したという結果が発表され、業界に衝撃が走りました。

一方、周辺機器市場では、設備工事数が最悪だった一昨年より僅かに増加したものの、過去の好況期に比して半減の状況にあり、引き続き大変苦戦したところであります。

本年、弊会では特許取扱事業をより一層進展させること、貯玉システムメーカー加盟団体として貯玉補償制度適正運用に協力させていただくことを念頭に置き活動していく所存であります。

遊技業界に明るい兆しが少しでも戻ることを切に希望することに加え、新しい遊技機を含む新ネットワークシステムが業界内で検討されていることから、本ネットワークシステムの動向にも注目しつつ新しい年に臨みたいと考えております。

最後に、皆様からの一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 日本遊技産業経営者同友会  
代表理事 松田 高志



## 発想の転換と大胆な構造改革で

昨年は、世界各国で世代交代や新リーダーが誕生した年でありました。そして今年、ユーロ危機をはじめとする世界的な不況脱却のための各国の熾烈な戦いが始まる年であります。また昨年の国内においては、総じて何も決まらない、進まない、危機意識とスピード感のない年でありました。しかし今年、主導権を握らんとする各国の戦いの渦に否が応でも巻き込まれる年になります。

我々同友会は、昨年も被災地復興支援ボランティア活動を行い、5月から10月までに246名を派遣いたしました。これは一昨年と合わせて延べ561名の派遣となります。被災地の支援に関しては、今年も、同友会として出来ることを愚直に続ける所存であります。

昨年のパチンコ・パチスロ産業におきましては、株式会社ダイナムジャパンホールディングスの香港市場での株式上場という喜ばしいニュースがありました。また、健全化に向けても業界が一步前進した年でもありました。しかし市場は、遊技参加人口410万人減少という産業存亡の危機を迎えることになり、国民から「NO!」を宣言された年となったのもまた事実です。

パチンコ・パチスロ産業が、国民に愛される真の大衆娯楽として健全に発展し支持されるための実効ある行動を起こすべく、すべての団体、すべての経営者が立ち上がる年にしていきたいと思います。失われたファンの再獲得のために、新たなファンの創造のために、健全化への行動をより加速させ業界のトータルコスト削減へ、大きな発想の転換と、大胆な構造改革と、その具体的な実現に向けた行動を提言いたします。

本年も皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、皆様にとって良い年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

遊技場メダル自動補給装置工業会  
理事長 大泉 政治



## 経費節減へ積極的に器具の改善

昨年の日本経済は、未曾有の大震災からの復興が本格化し、復興関連特需が期待されましたが、欧州の債務問題や米国の経済回復力などの不確実性が大きく影響し、長期化するデフレ、円高、株安、更に消費税問題、外交問題、政界再編の動き等により混迷する政治で、低迷する経済は長期化の様相を呈していました。

このような厳しい経済情勢の中で、遊技業界は国民の大衆娯楽であるパチンコ・パチスロ産業をより活性化させ、国民に愛され親しまれるように努めています。機器製造メーカーは「ばちんこ依存問題」を考慮しつつ、老若男女の幅広い客のニーズに応えるため、「低貸機」や射倖性を抑えた「遊パチ機」、多種多様なゲーム性を持たせた遊技機を開発しています。

ホール企業にあっても省エネ、節電、環境、騒音対策及び接客方法の改善等により、快適な遊技空間を創生して集客力を高めていることが相俟って、遊技機設置台数が増加しました。特に、パチスロ関係はART機さらに高純増上乘せART機の人気機種が順調にリリースされ、「5号機ショック」から完全復帰したと言われるほど復調しました。

私どものメダル工業会はパチスロ周辺機器を提供する団体であることから、昨年はパチスロ設置台数の増加等に伴ってメダル自動補給器具等の出荷は好調でした。また、ホール企業の合理化に寄与するため、コストダウンを図ったメダル貸機用自動補給シュートを開発して販売を開始したところ、導入者から好評を博し、皆様のご要望に応えることができたと自負しているところです。

本年はホールの快適な空間創りの一翼を担うための静音対策とコストダウンを図って経費節減対策に寄与するため、メダル自動補給器具の改善に積極的に取り組み、皆様と共に健全な業界発展のために最善の努力をしまいたいと考えている次第でございます。

どうか本年も昨年同様のご厚誼とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

# 躍進を誓います

一般社団法人 パチンコ・チェーンストア協会  
代表理事 佐藤 公平



## 株式公開の夢果たし、さらに前進

PCSAは、去る平成24年3月25日に設立10周年を迎えることができました。

これも、諸先輩の皆様が60年苦勞し、育て、国民の皆様にあされるパチンコ遊技をつくってきていただいたお陰だと心より御礼申し上げます。またPCSAでは、この10年を節目とし、チェーンストア理論に則り、パチンコが更なる大衆娯楽となるよう邁進していく所存でございます。

旧年中のもうひとつの大きな出来事が、平成24年8月6日にPCSA正会員企業のホールディング会社 株式会社ダイナムジャパンホールディングスが香港証券取引所メインボードでの株式公開達成をしたことです。

PCSAでは、平成14年3月25日に設立した際、2つの趣旨を掲げました。それは株式公開と遊技産業新法の立法化でした。今回、そのひとつのパチンコ業界の大きな夢を果たす事ができました。この株式公開は、香港証券取引所での日本からのプライマリー上場(単独上場)の第1号であり、また、パチンコホールオペレーター企業の初めてのIPOとなりました。世界基準の香港証券取引市場が株式公開を認めたという事で、パチンコホールオペレーターが世界基準で評価をいただくという、すばらしい瞬間となりました。

PCSAは、企業の健全化、ひいては業界の社会的地位向上につながる株式公開企業が続くよう、IPOを推進し、情熱ある企業には惜しまずにご協力をさせていただきたいと考えております。

とはいえ、ばちんこ業界にはまだまだ多くの課題が残されております。

新しい年こそ、業界の掲げる多くの課題に対して、より積極的に取り組み、多くの国民の皆様から我々産業への正しい認知と信頼を受けるべく、ホール5団体が貴協会を中心に強い絆で結ばれた活動を押し進めていただくことをお願い申し上げますと共に、弊協会もホール5団体の一員として、更なる努力と研鑽を積んで、新しい年を貴協会とご一緒に活動してまいります。

一般社団法人 余暇環境整備推進協議会  
代表理事 宮脇 磊介



## 誇るべき産業だからこそ精進を

昨年中に当協議会に賜りましたご指導ご支援に対しまして、厚くお礼を申し上げます。特に、11月13日の当協議会秋季セミナーでは、ホール5団体の役員にお集まりいただき、パネルディスカッションを開催いたしました。ご多忙中にもかかわらず協力いただきましたホール団体様およびご登壇者様には、心より感謝申し上げます。

さて、中国は習近平体制へと指導部が若返り、国家として「日本篡奪の宣戦布告なき軍事行動」を開始しました。欧州は依然として通貨危機を抱え、米国も財政問題に直面しています。日本国内では、震災復興は遅々として進まず、政治も混乱し、大手家電メーカーは軒並み赤字と、明るい兆しが見えない現状にあります。少子化高齢化、巨額の赤字国債発行、デフレ状態の継続、超円高の為替相場、不況によるリストラと、不安要素は枚挙に暇がありません。

こうした状況下において、パチンコ業界では、幼児の車内放置事案を巡る世間からの反応一つを見ても、厳しい目が向けられていることがわかります。ファン人口が減少していることを鑑みれば、これからはファン以外の方への気配りや対処も併せて求められるでしょう。

パチンコなどの娯楽産業は、一般的に不要不急の産業と言われます。しかし国民生活に潤いを与え、癒しを与えるパチンコの存在が、被災地や高齢者の生きる希望になるなど、積極的意義が見直された一面があるのも事実です。パチンコが持つシステムの独自性と、産業としての進化は、世界で唯一のものであり、誇るべきものであるといえます。だからこそ、より多くの方に楽しんでいただくため、より一層の精進をする必要があるのです。

当協議会は、「業界の環境を整備し、業法の制定を図る」をキャッチフレーズに活動しております。わが国固有の文化であり、生活に密着した娯楽であるパチンコを維持発展させていくためには、監督官庁並びに業界の皆様と堅く連携を取りながら、業界健全化に取り組んでいく必要があると考えます。

一般社団法人 電子認証システム協議会  
代表理事 下口 二郎



## 低費用で済む消費税対応に尽力

昨年はホール運営の適性化、特に広告、一物一価等の大きな課題がありました。また日本遊技機工業組合からの新型遊技機の提案があり、各団体との協議が始まり、この先の行方がまだ不透明ですが、当協議会もファンの為、ホール様のメリットになるのであればそれなりの努力をしていきたいと考えております。またパチンコファンの減少が進み不安を残しましたが、これは遊技機メーカー様の工夫した新機種の開発、ホール内の環境の整備、そしてホール様の運営努力により、徐々に解消して行くと期待しております。

来年4月より施行されます消費税増税に対し、外税に切替るか、内税のまま行くか、ホール様はまだ方針が決められないのが現状かと思えます。外税にしてその分出玉率を上げファンに還元するか、内税のままでその分利益を増し対応して行くか、判断は難しいと思われ、実際はファンがどう選択するかによるでしょう。

認証協のiクリアシステムは消費税対応をスムーズで費用が小額で済む様に当初の設計段階より加味して開発され、データセンターより通信で一斉に行ない、確認のみの作業と成っております。今年もホール内の環境を少しでも改善し、ファンの方々及び従業員の方が安心して楽しく過ごせる機器等の提供を行なっていきたいと考えております。

現在の遊技ファンを見ますとシニア層が大半の様にあります。低貸玉を工夫した営業、ホール様のシニア層の取り組み強化、そしてホール内の環境、特に煙草の煙及び臭いなどの対策が急務かと思えます。シニア層が夫婦仲良く楽しめる様、注力して行かなければならないと思えます。

当協議会は今年6月で十周年を迎えます。やっと業界内での認知度も上昇して、この先業界に対し貢献できる様、一丸となって努力して参ります。

社会情勢は円高対策、TPP、脱原発、数々の難題をかかえてのスタートですが、第一に景気の回復に期待して、国民が少しでも豊かになり、当業界に対してもうるおいを期待します。皆様方のご指導の程宜しくお願いいたします。

一般社団法人 プリペイドシステム協会  
理事長 小堀 豊



## 安心の品質保持を追求したCU

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、ますますご健勝で、輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

当協会は、「インのクリア」を通してパチンコ業界に貢献すること及び会員各社の相互理解と切磋琢磨を目的として設立され、本年7月には設立10年目を迎えます。

この間、品質管理の礎となる統一の「貸出インターフェース規約確認書」に基づく助保安通信協会の試験に合格したCU(カードユニット、メダル等を含む)は368機種を超えるまでになりました。

当協会のCUは、ホールの皆様方がより安心してお使い頂けるよう、また品質保持のため、平成20年8月以降は、従来の検査項目にセキュリティ項目を追加した試験を経て、平成24年度からは、従来の新規試験等に加え、変更試験も行い、提供されています。

また、平成18年からは「インのクリア」の更なる普及のため、パチスロ機等への進出・普及にも努めているほか、最近の低貸玉に対応したCUや計数機能を備えたCUの開発等、業界のニーズに応えたCUの提供にも努めています。その結果、当協会加盟各社のCUは、平成24年10月の段階でパチンコ遊技機の約85%260万台、回胴式遊技機の約51%75万台に使用されております。なお、昨年来、新たに開発されるECOパチ機に対応したユニットシステムの検討も進めています。

更に、「パチンコ・パチスロ産業21世紀会」の一員として、業界振興に少しでも役立ちたいと協会挙げて努力しています。

本年も業界団体の一員として、業界の各種活動に積極的に参加しつつ、お客様方や関係行政機関・諸団体等との意見交換を通じて、プリペイドシステムのあるべき方向を模索しながら、その実現に努めていく所存です。

年頭に当たり、皆様方からのより一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いするとともに、皆様方の益々のご発展とご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。